

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		学校建物および設備使用許可申請事務事業				②事業番号		7601	
③事業類型		8. 人件費事業		④開始年度		昭和 51 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称 社会教育法、泉南市立学校建物及び設備使用条例他	
⑦実施手法		直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	9	項	5	目	1	細目	1
⑨担当部名		⑩担当課名		会計					
教育部		生涯学習課		一般会計					

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市民の健康増進、体力づくりの場の提供として、学校教育に支障のない範囲で市内全小中学校施設(体育館、教室、グラウンド)の開放を行っている。		① 利用可能施設数		件	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
自主的なスポーツ活動等を促進し、市民の健康増進、体力向上のため、学校施設の効率的な利用を図る。		① 利用件数		件	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
日常におけるスポーツ活動の促進、生きがいづくりや地域コミュニケーションづくりの場の提供に繋がる。		政策(章)	1	すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち	
		施策大(節)	4	だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします	
		施策中	2	生涯学習内容の充実	
		施策小	4	スポーツの推進	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①		人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		利用可能施設数	件	14	14	14	14	14	令和2年度の成果 指標の減は、新型コ ロナウイルス感染拡 大のため、利用停止 を行った期間があっ たため。
活動指標②									
活動指標③									
成果指標①		利用件数	件	4,944	5,085	4,961	5,000	5,200	
成果指標②									
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.37	0.44	0.42	0.30		事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
		任期付職員	人	0.04	0.04	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.01	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	3,131	3,530	3,223	2,290		
		直接事業費	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	3,131	3,530	3,223	2,290			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—	
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	受益者負担金	千円	1,020	1,119	835	960			
	その他特定財源	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,111	2,411	2,388	1,330			

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	あらゆる世代のスポーツ活動の機会の充実のため、気軽にスポーツができる場所として、また市民の交流の場を設けるために既存の学校体育施設を活用する必要が生じたことから、学校体育施設の開放を行うこととなった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	地域、スポーツ団体の身近なスポーツ活動の場として利用されている。幅広い世代で継続的に利用されており、健康づくりや生きがいづくりに役立っている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	市民、団体の交流の場、スポーツ活動の場として、多くの利用があることから、学校施設開放に対するニーズにysteている。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	市民、団体の交流の場、スポーツ活動の場として施設を十分に活用されている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	施設を十分に活用するために、利用者数の増加を目指し、利用者が利用しやすいよう申請方法などを見直した。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	学校施設の開放について、学校事業に大きくかわることから、本課が関与する必要がある。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではできませんか。)	ア. ある イ. ない	申請に対する承認事務であるため、コストは最小限に抑えられている。
---	---------------------------	----------------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、突然の貸し出し停止を行わざるを得ない事態が想定されるため、利用者への周知方法を見直す必要がある。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)
	↓ ↓ ↓
b	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	突然の貸し出し停止を行わざるを得ない事態が想定されるため、柔軟な対応ができるよう利用者への周知方法を見直す必要がある。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—